



令和4年度 鹿児島市

# 安全安心住宅ストック支援事業

5/9(月)～  
受付開始

## ■受付

市役所東別館4階  
建築指導課

8:30～12:00

13:00～17:15

(土日祝、年末年始を除く)

## ■工事等完了期限

令和5年2月11日(土)

## ■実績報告期限

令和5年2月24日(金)

## 耐震型



耐震型で行う工事では、「代理受領制度」を利用することで、支払い時に用意する工事費が軽減されます。

詳細は建築指導課へ  
お問い合わせください。

### 内 容

### 対 象

### 補助率(限度額)

#### 耐震診断

の費用の一部を補助します。

昭和56年5月31日以前に着工された戸建住宅

2/3  
(10万円)

#### 耐震改修工事

の費用の一部を補助します。

耐震診断の結果、耐震性が不足していた戸建住宅

1/2  
(100万円)

耐震改修工事等とあわせて行うリフォームの費用の一部を補助します。(※1)

耐震改修工事等を行う戸建住宅(貸家は除く)

20%～40%  
(20万円～40万円)

※1 空家活用・移住型に該当する場合は **空家活用・移住型** の補助率が適用されます。  
詳しくは裏面をご覧ください。

## 空家活用 ・移住型



### 内 容

### 対 象

### 補助率(限度額)

空家活用品、  
移住型に該当する場合は  
リフォームの費用の一部を補助します。

#### 耐震型

20%～60%  
(20万円～60万円)

#### その他(※2)

20%～40%  
(20万円～40万円)

※2 昭和56年6月以降に着工など耐震性のある住宅(貸家は除く)

### 空家活用品

対象

令和4年4月1日現在で、築10年以上経過し、かつ  
空家期間が1年以上の戸建住宅のリフォーム

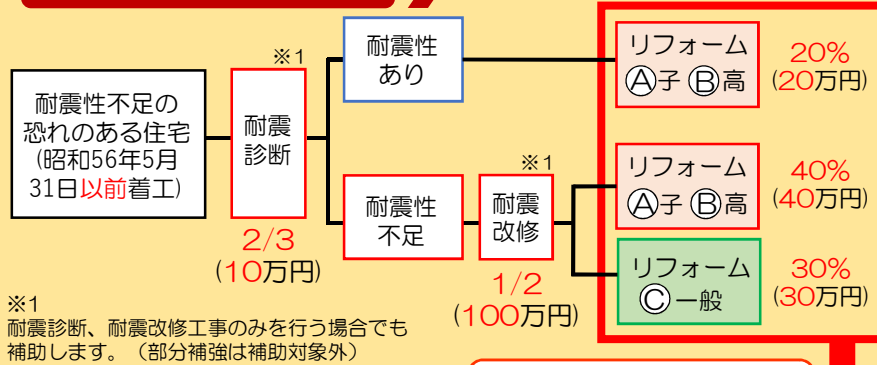
### 移住型

対象

令和3年4月1日以降に県外から本市へ転入した方が、  
・令和4年4月1日以降に購入した住宅のリフォーム  
・相続、贈与により所有している住宅のリフォーム

## 補助率（限度額）

### 耐震型



### ① 子育て世帯



高校生以下の子供  
が同居する世帯

### ② 高齢者等世帯



※2 高齢者 ※3 又は障害者  
が居住する世帯

※2 令和4年4月1日現在65歳以上  
※3 身体障害者手帳1～4級  
精神障害者保健福祉手帳1,2級  
療育手帳A1,A2,B1 いずれかの交付を受けている方

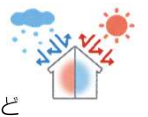
### ③ 一般世帯



(①、②を除く世帯)

### 主な対象工事

- 断熱改修工事
- 外壁、屋根塗装工事
- その他屋内のリフォーム工事など



### ゼロカーボンシティかごしま

地球温暖化によるリスクを低減し、  
持続可能な未来を実現するため、  
2050年までに鹿児島市の二酸化炭素  
排出量を実質ゼロに挑戦します！



### 空家活用・移住型

空家活用・移住型に該当する場合は  
10～20%補助率が加算されます。

	空家活用型、移住型 を行うリフォーム	世帯要件	空家活用型、移住型	
			どちらかに該当	どちらにも該当
耐震型	耐震型補助を利用した 耐震診断の結果が 「耐震性あり」の住宅を行う リフォーム	①子育て ②高齢者等	30% (30万円)	40% (40万円)
		③一般	20% (20万円)	30% (30万円)
	耐震型補助を利用した 耐震改修工事と あわせて行うリフォーム	①子育て ②高齢者等	50% (50万円)	60% (60万円)
		③一般	40% (40万円)	50% (50万円)
その他	耐震型以外の住宅に行う リフォーム (昭和56年6月以降着工など)	①子育て ②高齢者等	30% (30万円)	40% (40万円)
		③一般	20% (20万円)	30% (30万円)

### たとえば・・・（耐震型）の補助）

【子育て・高齢者等世帯で空家活用型、移住型どちらにも該当する場合】

最大 **170万円** の補助（耐震診断 **10万円** + 耐震改修工事 **100万円** + リフォーム **60万円**）

## 要件

### 補助の要件



- リフォームを行う住宅は申請者が所有し、居住していること  
(居住していない場合は、実績報告時までに申請者が居住すること)
- リフォームは対象工事が20万円以上であること
- 市税を滞納していないこと
- 補助申請後に「補助金等交付決定通知書」が届いてから契約を結び、診断や工事を行うこと
- 工事完了期限までに診断や工事を完了し、実績報告期限までに実績報告を行うこと
- 他の住宅関連助成制度と工事内容が重複しないこと  
(リフォームについては、国のこどもみらい住宅支援事業と併用可能)
- 過去に安全安心住宅ストック支援事業のリフォームを利用していないこと

### 施工業者の要件

- 市内に本社のある法人または住所のある個人業者が行うこと  
(耐震改修工事とあわせて行うリフォームはこの限りではありません)

### 問合せ先 鹿児島市建築指導課（市役所東別館4階）

TEL:099-216-1358 FAX:099-216-1389 平日8:30～17:15(土日祝、年末年始を除く)

メール: kshido-kenan@city.kagoshima.lg.jp

ホームページ:「安全安心住宅ストック」[検索](#) またはQRコード

■事業の詳細については、「申請の手引き」をご覧ください。

(市ホームページや建築指導課、各支所総務市民課などで入手できます。)



注意!

業者の対応に不安や疑問を持ったらず  
すぐに契約せずに下記へ相談を!!

- 鹿児島市消費生活センター TEL: 099-808-7500
- 鹿児島県消費生活センター TEL: 099-224-0999
- (公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター  
(住まいのダイヤル) TEL: 0570-016-100